

山のしごとをするひとが身につけている道具。どんなときにどんな道具を使うのでしょうか。さあ、マモロンと一緒に考えてみましょう。

山の道具って

どんなものがあるの？

山のしごとには、木を伐り倒したり、苗のまわりの草を刈ったりと、いろいろな作業があります。そして、木を伐り倒すときにはチェーンソー、草を刈るときには鎌を使うように、その作業に向いている道具があります。山へいったん入ると、しごとが終わるまで戻れないのでいろいろな物を持ち運ばなくてはなりません。また、山の中ではキケンなことがたくさん

あるので、安全にしごとができるよう道具や服を装備しています。いろいろな道具たちのおかげで、はたらく人と山は守られているのです。

山にはたくさんの生き物がいて、そのなかには強い毒をもっているスズメバチやマムシもいるんだ。だから、一年中はだを出さないような服を着て、毒をもった生き物から身をまもることが大切なんだよ。

リュックサック

チェーンソーの燃料や小さな工具、それにお弁当や飲み水を入れます。背負うことで両手が自由に使えます。



ヘルメット

枝や飛んでくるきりくずから大切な頭をまもるために、山にいるあいだ、ずっとかぶっています。



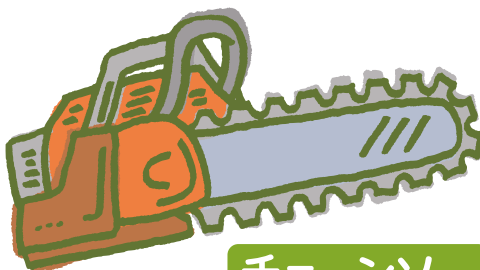
地下足袋

長靴と同じように、スパイクつきのものがあります。足首にぴったりつけることで踏ん張りがきくため、足場のわるい高いところでも安全に作業することができます。



チェーンソー

山のしごとの代表的な道具で、エンジンのパワーで、大きな木でも楽に早く切れます。とても便利ですが、ケガをしないように、前もって使い方を学ぶことが大切です。



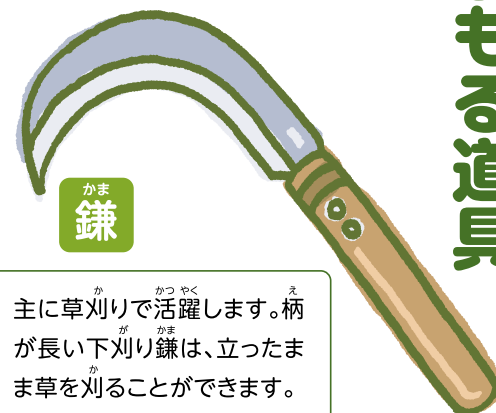
これ以外にもいろいろな道具があるんだよ。

ケガをふせぐ工夫もいっぱいあるんだね。

山の道具って、こんなにいろいろあるんだ！

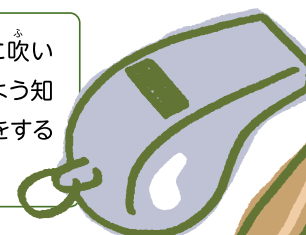
鎌

主に草刈りで活躍します。柄が長い下刈り鎌は、立ったまま草を刈ることができます。



呼子

木を伐り倒すときなどに吹いて周りの人に注意するよう知らせます。安全にしごとをするための大切な道具です。



鉈

つるを断ち切ったり、木の枝を切り落とすときなどに使われています。



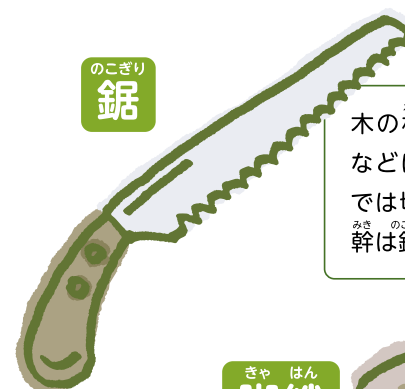
長靴

とても丈夫につくられているため、落ちてきたものが靴に当たってもケガを防いでくれます。裏にすべり止めのついているものもあります。



のこぎり 鋸

木の枝を切り落とすときなどに使います。特に鉈では切りにくい太い枝や幹は鋸で切ります。



絆 脚絆

地下足袋の上につけて、砂や石が入ってくるのを防いだり、足の疲れを少なくしたりします。

